

# NEWS CIT

2019  
6.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部  
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼  
2丁目17番1号  
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

## ニュースガイド

- 2面 ロボカップアジアパシフィックでCIT Brainsが優勝/星さん若手奨励賞/今泉さん学生ポスター賞/米デポー大と交流協定/名誉教授に宮崎、木幡元教授
- 3面 20年度入試・高校教員への説明会が高い人気/和田研がSTEM・ロケット教育を支援/同窓会総会開く/長岡高専と連携協定
- 4面 第24回文化の祭典開く/新任紹介

# 生命誕生の種含む？

## 中米隕石 PERC が入手

一般公開へ

地球生命の起源解明の研究に新たな一歩を記すと期待される貴重な隕石を惑星探査研究センター(PERC)が入手。この夏にも東京スカイツリータウンキャンパス Area II に展示し、一般に公開する(予定)になった。



PERCが入手した隕石「AGUAS ZARCAS」



分析を進める荒井主席研究員

この隕石は今年4月23日夜(現地時間)、中米コスタリカの首都、サン・ホセ郊外の上空に現れた複数の巨大な火球から無数の破片となつて降り注いだ「AGUAS ZARCAS」(スペイン語で「ザルカス海」。民家の屋根を突き破るほどの大きさのものもあり、これまで確認された

までに採集された量は約30kgと推定される。コスタリカ大学の初期分析や、その後の米アリゾナ州立大学の分析で、地球生命誕生の「種」となる炭素質物質や水を含む「CMコンドライト」であることが分かった。

## 荒井主席研究員 共同で分析作業

CMコンドライトで最大のもは、1969年9月にオーストラリアに飛来した「マーチソン隕石」。この隕石からは地球上の生体では見られない有機物(アミノ酸)も発見されており、AGUAS ZARCASにも世界中の隕石研究者が熱い視線を注いでいる。

た4月23日は「この座流星群」の極大日。このため母天体は「この座流星群」の「Matchet」彗星(公転周期4.15年)ではないかと一時は考えられたが、軌道計算の結果、全く別の短周期彗星(公転周期20年未満)であることが分かった。

## 隠れた市民意識を可視化

### 本学DSI 千葉市に分析報告



熊谷市長(中央奥)に分析結果を説明する久武機構長(その右)

本学は5月29日、県東部沿岸の九十九里町と包括的連携協定を締結した。千葉県内で同様の協定を締結した自治体は習志野市、浦安市、御宿町(以上2014年)、千葉市、香取市(同16年)、船橋市、市川市(同18年)、勝浦市、酒々井町(同19年)に続いて10番目。本学が積極的に進めている「地域社会との共生」がさらに前進した。

熊谷市長(中央奥)に分析結果を説明する久武機構長(その右)と本学、瀬戸熊理事長(同左)が固い握手を交わし、「地域社会の発展と人材の育成に貢献・協力していきたい」とあいさつした。



## 九十九里町と包括協定

画見直しの基礎資料として3年に一度実施。今回DSIが分析したアンケートは、市民のいま住んでいる地域での「生活満足度」や「住み続けたいか」をさまざまな側面から問うもので、昨年秋に行われた。

このデータ分析を、多項ロジット・モデルを駆使して行うことで、これまでの一般的な分析では見えてこなかった市民の意識を、客観的なデータとして表すことができたという。

DSIはこの分析結果について、熊谷市長は「非常によく見ていただき、今後のアンケートのやり方の参考にもなる分析をいただいた」と謝意を表明。同席した総合政策局幹部からは「これまで職員力量だけでは分析手法の選択自体が難しかったが、この結果を見て、新たな領域に踏み込んでいくための一条の光が見えてきた感じですね」といった声も寄せられた。

本学と千葉市は2016年4月に包括的連携協定を締結。このアンケート結果の分析も同協定に基づいて行われた。DSIは今後、本学と包括連携協定を結んでいる千葉県内の他の9市町にもE-BPM導入のための共同研究などを働きかけていく方針だ。

# CIT Brainsが優勝

## ロボカップアジアパシフィック中国天津大会

### サッカー、テクニカルで圧倒

千葉工大の有志で構成した「CIT Brains」が5月16日、中国天津市で開催されたロボカップアジアパシフィックで優勝。7月にオーストラリアのシドニーで開催される世界大会に向けて大きく弾みをつけた。



優勝した「CIT Brains」チームとキッドサイズのサッカー・ロボット

7月世界戦へ弾み  
「ロボカップアジアパシフィック」と銘打った大会は、アジア各国や中東、ロシアまでを対象地域としており、2017年にタイ、18年はイランで開催。来年は愛知県での開催が決まっている。

今回の天津大会に「CIT Brains」は招待され、未来ロボティクス学科の2年生5人と院生1人で構成されたチームで臨んだ。出場したのはサッカー

天津大会出場メンバー (敬称略)  
北浦 勇人、桑野 雅久、塩島 諒子、玉水 瑛乃、長谷川 豪大 (以上2年)、島田 悟志 (修士1年)、林原 靖男 (教授)

苦労した点は、蒸着装置の改良から出発したことや、発表に必要なデータが多くの吟味に苦労したことという。

星さんは「受賞決定に驚きで頭が真っ白になりました。とても光栄です。さまざまな方々に助言を頂いて受賞までして有意義な時間だったと感じています」と述べた。

星さんは「受賞決定に驚きで頭が真っ白になりました。とても光栄です。さまざまな方々に助言を頂いて受賞までして有意義な時間だったと感じています」と述べた。

### 色変化素材、より安価に

#### 星さん若手奨励賞

日本材料科学会・2019年度学術講演大会(5月23、24日、横浜市)の関東学院大・関内メテニアセンターで開催のポスターセッションで、星大輔さん(機械サイエンス専攻修士1年、井上泰志研究室)が「斜め堆積反応性蒸着法」により作製した微細毛構造化TiN膜の光学特性を発表し、若手奨励賞を受賞した。



電荷を注入すると可逆的に色変化を起す吸着誘起型エレクトロクロミック(ECC)現象で知られる窒化インジウム(InN)。新材料として利用する場合、InNは色変化が速い反面、色変化量が小さく、また有色層で変化した無色透明の状態がな



デポー大のマッコイ学長(中央左)と小宮学長

### 米デポー大と交流協定

小宮一仁学長は5月22日、米国インディアナ州マッコイ学長、学部生約2400人を訪問し、同大と本学との海外交流協定に調印した。

### 名誉教授に2氏

本学で長年、教育と学術の向上に寄与した2氏に対し、本学は4月28日付で千葉工業大学名誉教授の称号を授与した。新に名誉教授となったのは元情報工学科教授の宮崎兄児氏、元情報ネットワーク学部長の木幡元教授。

宮崎元教授はコンピュータ処理のスペシャリストで、インターネットとデータベース、情報検索、運用技術などで功績があった。



宮崎・元教授



木幡・元教授

電子情報通信学会の光ファイバ応用技術研究会(5月16、17日、大阪市の大阪府立大)で、今泉可

大。現在のシングルモードファイバに代えて、1本のファイバ内に複数のコアを持つマルチコアファイバ(MCF)で通信容量を飛躍的に高めるシステムが検討されている。

長瀬研では独立行政法人情報通信研究機構の委託研究の一つとして、MCFに接続するSC形光コネクタ(着脱が確実なフッシュアップ型コネクタ。日本の先行技術)の開発に取り組んでいる。

「受賞にはとても驚きました。長瀬教授やOB・OGの協力があってこそこの受賞で、とても感謝しています。今後も恵まれた環境に感謝しながら研究に励みたいと思います」と語っている。

今泉さんはオルダム・カップリング機構(軸ずれがあっても正しく回転を伝える軸継手)を備えたMCF用汎用光コネクタを提案してきたが、ケーブル同士の接続に限定すれば、接続したときにオルダム・カップリング機構を構成する簡易構造のMCF用光コネクタを実現できる。



今泉さん学生ポスター賞

「受賞にはとても驚きました。長瀬教授やOB・OGの協力があってこそこの受賞で、とても感謝しています。今後も恵まれた環境に感謝しながら研究に励みたいと思います」と語っている。

中国に続く4年ぶり、3度目の世界制覇が視野に入ってきた。シドニー世界大会は7月28日。CIT Brainsは3、4年生と大学院生によるメンバーで挑戦する。

### マルチコアファイバ研究で

#### 今泉さん学生ポスター賞

この結果、サッカーゲームは①テクニカルチャレンジ、②ゴールキック・フロム・ムービングボール、③ハットトリックの3種目が行われたが、2チームが棄権。CIT Brainsと北京科技大学チームが熱戦を展開した。

# 高い人気、219校参加

## 20年度入試 高校教員に説明会



高校の教員を対象にした2020年度の本学入試説明会が5月31日東京スカイツリータウン、6月4日津田沼キャンパスで開かれ、2日間で計219校から221人の受験担当の先生たちが参加したII写真。

内訳はスカイツリー03校、津田沼116校で、昨年の計200校を上回った。

近年の本学のブランド力上昇を反映して、19年度入試の総志願者は9万2528人と、18年度より1万2079人も増えた。入試説明会への参加

# 和田研が女生徒教育支援

## メンターに院生、ロケット技術指導

機械電子創成工学科・和田豊准教授の研究室が支援する女子中高生のためのSTEM(科学・技術・工学・数学)教育プログラム「ガールズ・ロケットリー・チャレンジ」(GRC)の対象校に選ばれた3校の任命式が5月11日、新習志野キャンパス7号館で行われたII写真。

GRCは世界最大級の軍需・宇宙・航空企業の米ロッキードマーティン社が、モデルロケットの製作と打ち上げを通して日本の女子中高生のSTEM

EM教育を推進しようとして、2016年10月にスタートさせた。この5月に始まった第4期は、都立国分寺高校、静岡市立高校、麗澤瑞浪中学・高校の3校から14人の女子生徒が参加。

本学は「ロケットガール&ボーイ養成講座」を実施してきた経験や和田研究室のロケット研究、惑星探査研究センター(PERC)の研究活動などが評価されて18年からプログラムのサポートを委嘱されている。

今期のメンターは工学専攻博士後期課程2年の



坂野文菜さんと機械サイエンス専攻修士1年の高砂民明さんが務めている。

また、ロケットリー・チャレンジが同じく支援する中高生を対象としたロケット甲子園では、女子だけのチームが優勝し、パリエアショーで開催されるモデルロケット国際大会への出場権を獲得した。和田研のメンターが会場に向け指導なども行っている。

がったことを強調した。こうした本学の好調を支えるさまざまな取り組みを、学習環境整備やグローバル化対応、地域との連携、就職支援、さらに惑星探査研究センター

# 「会員ネットワーク強化を」

## 令和初の同窓会総会

令和になって初めての千葉工業大学同窓会の通常総会が6月1日、津田沼キャンパス4号館で開催された。

同窓会は今年で創立72周年。池永憲明会長(昭和50年機械卒)はあいさつで「同窓会は今年3月に2340人の卒業生を迎えて、8万8300人



針を明らかにした。来賓としてあいさつした小宮一仁学長は、「本学は今年、志願者が初めて9万人を超え、過去5年間で志願者が増えた大学の全国3位にランクされたが、入試倍率が上がった大学のランクでは日本一。全国783大学の中で入学試験が最も難しい大学になりました」と報告。

一方、世界の名門大学での日本人留学生の減少と中国人学生の台頭、日

(PERC)や未来ロボット技術研究センター(fuRO)の先端研究などの具体例を挙げて、日下部聡・入試広報部長が説明。高校の先生たちは納得の表情で聞き入っている。

た。続いて大川茂樹・入試委員長(副学長・未来ロボティクス学科教授)が20年度のAO・推薦、セクター利用、一般入試の要点などを説明した。それ

れによると、センター利用入試(前期・中期)の英語の外部資格・検定の基準スコアの変更など多少変わる点はあるが、19年度と大きな変更はないという。

本の工業生産力の低下が顕著だとし、「今こそ工業大学が日本を引っ張っていかねければならぬ。千葉工大はしっかりと学生を育て、グローバル化の時代に対応していく」と決意を披瀝した。

会議はこの後、平成30年度の事業・収支決算・監査報告と令和元年度の事業計画・予算、これから1年、同窓会の運営に当たる本部役員と支部評議員(支部長)を承認。11月23日(土)にホームカミングデイを開催することが決まった。

議事後、平成4年から同窓会事務局に勤務し、今年3月に退職した酒井眞美子さんの労をねぎらって、池永会長から花束が贈呈された。

会恒例の鏡開き、お楽しみ抽選会と進み、4人の応援団のエルで校歌斉唱。OBたちは学生時代に返って旧交を温めていた。

気電子システム、電子制御、物質、環境都市工学科の5学科、電子機械システム工学、物質工学、環境都市工学専攻の3専攻がある。

今回の連携で、本学が進めている最先端技術の開発やグローバル化の推進など、今後の社会の中核を支える若い工系人材の育成に期待がかかる。



① 同窓会総会であいさつする池永会長 ② 懇親会で

# 長岡高専と連携協定

本学は、長岡工業高等専門学校(竹茂求校長、生徒数約1100人)新潟県長岡市)と「包括的な連携に関する協定」を結び、6月3日、小宮一仁学長II写真左IIと竹茂校長II写真右IIが出席して締結式を行った。

長岡高専は国立長岡工業短期大学(1961年創立)を前身とし、高等専門学校制度が発足した1962年(昭和37年)4月に国立高等専門学校



1期校12校のひとつとして設置された。機械、電気電子システム、物質工学、環境都市工学専攻の3専攻がある。

今回の連携で、本学が進めている最先端技術の開発やグローバル化の推進など、今後の社会の中核を支える若い工系人材の育成に期待がかかる。

# culture 満開 第24回 文化の祭典



▲吹奏楽部



▶あいさつする  
川島実行委員長



▲フォークダンス部 ▼鉄道倶楽部



▲ピンゴ!! ▼SINGularity



▼よさこいソーラン風神部



## 体験型や音楽系 華やかに

第24回文化の祭典（実行委員長・川島悠太郎さん）が5月26日（日）、津田沼キャンパスでにぎやかに開催された。

今年度は「満開（Have a culture）」をキャッチコピーに、「参加団体が持つ多彩な文化を惜しみなく咲かせ、華やかなイベントになってほしい」と願った。

実行委員たちは力を合わせて準備し当日を迎えた。6号館には、文化会を中心とした各サークルが日ごろの成果や練習上げた企画を展示。外ブースと併せ、親子に楽しんでもらう体験型イベントが多かった。手芸倶楽部や写真部など多数が展示で研究成果を披露。外ブースの鉄道クラブは今年

も5分ミニ電車を運行し、特設路線に家族連れが集まった。パフォーマンステージや広場では、音楽サークルが軽快な演奏を繰り広げた。よさこいソーラン風神部はおなじみの力強い演舞を披露。連携協定校の神田外語大からもよさこいサークル「YOSAKOI-Singer」が

参加し、会場が華やいた。文化講演会には、人気声優でナレーターの洲崎綾さんが登場。2010年にデビュー以来、数々のアニメやゲーム作品で少女役を演じているが、津田沼キャンパスでは落ち着いたトーク

今年度、一番輝いたサークルを来場者投票で決める「サークル総選挙」では1位が民俗音楽研究会、2位は茶道部、3位は軽音楽部だった。

川島実行委員長の話 今年度は新しい試みとして、一人でも多くのファンに来場してもらおうと

事前販売制の有料トークショーを実施。加えて団体数や新企画を増やすなど、さらに楽しめる祭典を目指しました。この祭典に携わる全ての人々が、今後も発展を目指されるよう願っています。

情報通信技術の発達には目まぐるしいものがあり、今後技術革新は激しくAIやRPAなどの技術も短時間で開発され、次への変化がまた訪れるでしょう。卒業後の千葉工大も大きく変わりました。時代の変化と共に環境面、知名度が飛躍的に向上しています。この2年間PPAを通じて様々な経験をさせていただきました。卒業生であるとともに保護者として本学に関わったことを誇りに思います。これも瀬戸熊理事長、小宮学長をはじめとする関係各位のご指導、ご協力があったからこそ感謝に堪えません。今後も親子の母校としての千葉工大の発展を願っております。

PPA会長 深水 進

スタイリッシュかつ綺麗なキャンパスで、先輩方に相談ののっていたきながら、1日でも早く即戦力になれるように努力したいと思います！  
趣味はドラマ鑑賞。



**新任紹介**  
水田 愛子  
(会計課 事務職員)  
(敬称略)

**編集だより**  
オープンキャンパスが近づくと、職員や教員らの間で必ずといっていいほど「雨、大丈夫かな？」と話題になる。

初回のオープンキャンパス開催のこの時期、空はいつもとんより曇って、雨が降ったり止んだり。じめじめ湿気って、

気温も高く、じっとりとした汗で憂鬱に。家でも洗濯物は乾かず、あまりいいことがない。こんなキライ要素満載の「梅雨」を、せつかくなら楽しもうと、あえて雨の休日、家族と花菖蒲を見に出かけた。

私の住む葛飾区には、花菖蒲の名所がある。江戸時代には「江戸百景」に数えられ、浮世絵にも登場した「堀切菖蒲園」。綾瀬川沿いの広い園内には

入試広報課 大橋 慶子

**四季雑感**  
就職活動真っ盛りである。研究室の学生達も足繁く説明会に臨み、採用面接を受けるなどしている。是非納得する就職先を見つけて欲しい。

さて、諺に「若い時の苦労は買ってでもしろ」というのがある。その意味は「若い時の苦労は必ず貴重な経験となり将来に役立つ」ということだ。ところがあるときにそれを「自分の目前にある困難や新しい挑戦に正直に取り組みべし」と置き換えた途端、一気に腑に落ちたのを今でも覚えている。困難は自分が望む

と望まざるに関わらず前に現れる。「買う」と言うのは「逃げずに正直に取り組み」と考える事が出来る、目の前の困難に正直に取り組みれば人は必ず成長する。学生であれば、それは授業であり、卒研であり、そして就活である。

就活に躓いた学生が相談に来るかも知れない。その時、この諺を使ってみようか。

電気電子工学科 藤本 靖